

第16号  
平成25年3月

# 北野町連だより

夢とロマンのあふれるまち

発行者  
北野地区町内会連合会  
会長 濱田英彦

題字 木村信也氏(北野町連相談役)



すべき年でした。

その創立時は、どんな時代だったのでしょう。

まず、清田区がなく、みんな豊平区民でした。それから15年たって、豊平区から清田区が分区し、清田区民になったのです。

次に長い不況の始まりである「バブル」がはじける—。その「バブル」が、このころに芽を吹きだしてきました。最高3万8千円の平均株価の兆しが、このあたりで見えました。私なりの捉え方ですが、日本人が誇りと自信に満ち溢れている時代であった、この国がどこまで成長するのかと思う「キラキラ輝く」時代の日本でした。

それぞれの思いがありましょうが、一寸当時を見て見ませんか?

創立30周年目を、意義ある年にすることを考え、次のように集約しました。

(1) これから始まる30年を、さらに充実し、暮らし易い「北野のまち」にするため、まちづくりの仕事がし易い環境の整備をしようと思いました。

具体的には、皆さんの活動拠点である「北野連合会館」の建替えを実現したいと考えました。築30年の老朽化した建物を一新し、「地区会館」としての機能を充実し、これからこの「まち」づくりに邁進してくれる人達のバックアップができるようにと!

一方、災害に遭遇した時には、避難場所としての役目を果たしながら、北野の対策本部の役目をしっかりできるようなものを造りたいと、札幌市に相談し、お願いしながら実現する運びとなりました。詳しい中身は、これから決めることですが、進捗の都度、報告してまいります。

竣工は、平成26年末を予定しています。

## 北野町連の30年を振り返って

北野地区町内会連合会 会長 濱田英彦

(2) この30年間、先達が創りあげた北野地区に定着した数々の行事、この重要性を改めて認識するとともに、今後も磨きあげたいと考えました。

地域の皆さんと楽しめる「北野ふれあい夏まつり」、秋に、福祉をとりあげる「北野福祉まつり」、冬の入口である年末には、この地区的学校(小・中・高)の6校とここから巣立った「北野少年少女合唱団」と合同で「青少年音楽のひろば」、そして年間を通して共存している「厚別川」の草刈清掃作業、この4つを最重要行事として充実させていくつもりです。住んでいる皆さんと知恵を出し合い、この北野の柱を大きく育てたいと願っています。

(3) 創立30周年を祝い、北野をさらに認識していただくため、地域情報誌「きたの」と名付けた創立30周年記念誌を発行しました。

各町内会にお届けいたしましたので、ご覧下さい。編集には、「町連だより」の関係者も総動員し、延べ数十人が携わりました。今年度は、「町連だより」は、今号のみで終わります。

変化し、複雑化する社会にともすれば自分を見失うような気がします。惑わされずにお互いそれぞれの道を歩んで参りましょう。

「安心・安全、そして楽しく暮らせる北野」をめざして、私どもも邁進していきます。

創立30周年記念式典  
祝賀会 くす玉割

会場写真

# 札幌市が「北野連合会館」の建替え方針を決定!

北野まちづくりセンター 所長 大槻 典夫

北野連合会館は、昭和57年11月に建築され完成、落成式を迎えるました。

昭和58年3月26日に「北野地区町内会連合会」の設立総会、昭和58年4月1日に「北野連絡所」(現北野まちづくりセンター)が開設され、平成9年12月には、福祉のまち推進センター事務室が増築され現在の姿になりました。

北野連合会館は、町内会・自治会の会議・総会や新年交礼会、また老人クラブやサークル団体の会合等に「連合会館」の名で親しまれ利用されてきました。

会館は、建築後30年が経過し、寒すぎる、暖房設備や給湯設備の点検・改修が頻繁に必要となつたなど建物や設備の老朽化が目立ち始めました。

こうした状況から北野地区町内会連合会は、昨年8月に、札幌市に対し、「北野連合会館」の建替え要望書を提出しました。

札幌市は、平成25年度に「北野連合会館」の基本設計・実施設計、12月頃「北野連合会館」を取り壊し、平成26年春から新「北野連合会館」の建築を行い、



冬には新「北野連合会館」を完成させる計画です。

なお、札幌市は、新「北野連合会館」の建築にあたり、北野地区で使用いただくことから、建物の延床面積300m<sup>2</sup>までは札幌市が全額負担しますが、300m<sup>2</sup>を超える面積は、1m<sup>2</sup>につき、165,000円の計算で地元に負担をお願いすることになります。

今後、町内会連合会、町内会・自治会、会館利用者と、利用し易い新「北野連合会館」となるように話し合っていきたいと思っております。

本年の「北野連合会館」の取り壊し後のまちづくりセンターは、仮事務所に移転(場所は今後決定)いたします。

ご不便をおかけしますが、よろしくお願ひいたします。

## 「初心を忘れず」歩み続ける 福まちでありたい

運営委員長 一瀬 ヒロ

北野連合会館が新しい会館に建てかわることがきました。札幌市は、この新会館の中に福まちの活動拠点、福祉のまち推進センターを新築してくださるそうです。

平成9年12月20日、北野連合会館に福祉のまち推進センターが増築されました。福祉相談室や、子育て支援事業、高齢者福祉、介護予防事業、様々なイベントや事業を考え、実行してまいりました。福まちの事務所も、多くの地域の皆様が気軽に集まってサロンとして活用して下さり、賑やかだったこの部屋を壊してしまうには、いとおしく一抹の寂しさもありますが、この部屋で培われた福祉の心をしっかりと胸にかかえ、感謝しながら、新しい福祉の拠点の完成を待ちたいと思います。建設中は、福まちの事業もかなり狭まり、ご不自由をお掛けすることになりますが、福祉相談などは、しっかりお受けして関係機関との連携をはかってまいりますのでご安心ください。

平成24年度も、もう間もなく終わろうとしています。今年度の福祉のまち推進センターの事業の一つに「認

知症を理解しよう」というテーマがあり、1年かけて色々な角度から皆様に学習していただきました。これからますます増える認知症の人が北野のまちを安心して楽しく徘徊していただける安全なまちにしたいと願ったからです。

それには周囲の人達の優しい目、そっと気づかう心のゆとりを持つことが大切かと思います。お陰さまで毎回の研修会には、大勢の方々のご参加をいただきました。厚労省で行っている認知症サポート養成講座にも沢山の方が受講され、北野にはサポーターさんが大勢誕生しています。

お渡ししたオレンジリングは、全国どこででもサポーターとして活躍できるしです。腕にはめたり、バッグに入れて活用してください。

認知症は病気です。誰もがかかるかもしれない脳の病気です。家族で介護している人、老々介護、今は認認介護ともいわれる時代がきています。

お互いに見守られ、見守っていく真の福祉のまち北野を目指していきたいと思います。

## ○ 女性部この1年

女性部長 平山 加代

女性部長を引き継ぎ、まる 2 年が過ぎ様とします。春一番の事業には、がん検診があり多くの方々が対がん協会のバスでセンターで受診されます。男性の前立腺の検査も増えてまいりました。ご夫婦でご一緒に検診される方も居ります。7 月には町連主催の「北野ふれあい夏まつり」、単町女性部長さん方が朝から奮闘され、うどん、そば、おでん、焼ソバの行列には嬉しい悲鳴です。10 月の福祉まつりのカレーや、うどん、そば、11 月の独居高齢者配食弁当作りは、執行部の私達の頑張りどころで、中学生のボランティアさん達と和気藹藹、張り切っています。そして 1 円玉募金の事業は豊平区からの事業で 17 町内会、自治会皆様方の御協力で総額

459,345 円集まり本当に有難うございました。最後の事業としては、教養講座があり、募集で沢山の方々が応募され、サークルとして残り会館で受講されておられます。

女性部は交通安全母の会の会員でもあり、街頭啓発活動にも力を入れています。毎月第 3 火曜日の月例では、単町部長さん方と、諸々の企画に取り組み、楽しく行なっています。



ふれあい夏まつり



配食弁当

## ○ 北野地区青少年育成部

青少年育成部長 林 進一



北野地区青少年育成部は、次代を担う子どもたちの健やかな成長を願い、様々な活動を行っています。

川のせせらぎが心地良い 5 月には、あしりべつ川をふるさとの川として、子どもたちに親しんでいただこうと、「あしりべつ川ヤマベの稚魚放流」(1983 年開始) を実施しています。喜茂別の養殖場から、「北海道山女魚を守る会」より運ばれたヤマベの稚魚が、北野ふれあい橋(親水公園) に到着。育成委員から子どもたちのバケツにタモで移された稚魚が、「早く大きくなつて帰ってきて」の掛け声と共に、明るい笑顔で放流され、子どもたちの歓声があしりべつ川に

弾けています。

冬の訪れを感じる 12 月は、音楽を通して子どもたちの交流を深めようと「北野地区青少年音楽のひろば」(1989 年開始) を実施しています。北野地区にある小・中学校・高校の 6 校と北野少年少女合唱団が、日頃の練習の成果を披露し、地域の皆さんに音楽を楽しんでもらっています。最後には清田高校吹奏楽部の伴奏により、「ふるさと」などの唱歌を会場全員で大合唱。体育館は観客の盛大な拍手が鳴り響いています。

これからも、地域において子どもたちの社会参加や体験機会・交流の場を提供しますので、たくさんの子どもたちの参加をお願いいたします。



ヤマベの稚魚放流

## ○ 体育部

体育部長 佐藤 光夫

日頃より体育部の行事に対して町内会・自治会様には、大変お世話になっており感謝いたします。

- 1 第12回厚別川河川敷を歩く集い
- 2 第22回北野ふれあい夏まつり
- 3 第15回清田地区対抗壮年野球大会
- 4 第2回混合ソフトボール大会
- 5 第18回パークゴルフ大会
- 6 第6回スポーツ In 白旗山

### 7 第5回ボーリング大会

上記の行事を実行し、また参加してきました。昨年は壮年野球大会で優勝する事が出来ました。また、ソフトボール大会は雨天のため中止になりました。

平成 25 年度も体育部企画委員一同しっかり取り組んでまいります。



優勝 平成 24 年 8 月 26 日(日) 青山公園野球場

## 赤十字奉仕団北野分団30年の歩み

日本赤十字奉仕団北野分団 分団長 一瀬 ヒロ

昨年、北野地区町内会連合会は創立30周年を祝う記念事業がつづきました。

昭和59年5月、赤十字奉仕団北野分団は、団員数170名ほどで結成され、今年は創立30周年を迎えます。その間地域の皆様には絶大なるご支援をいただきました。団員一同感謝申しあげます。

奉仕団の活動は地味ではありますが、老人福祉施設のシーツ交換やウエスの贈呈、厚別川の草刈り清掃をはじめとする各種清掃奉仕、各小学校へ毎年300枚の雑巾の贈呈などに取り組み、7月の「北野ふれあい夏まつり」ではトウモロコシの販売などを20年以上にわたって担当させていただいております。またこうした地域に対するボランティアは勿論、北海道血液センターへの奉仕や、皇居の清掃奉仕なども行っております。

ひとたび大きな災害となった時には、赤十字の理念「人道博愛」の精神で、なに人に対しても分け隔てなく救援、救護、介助や介護の手を差し伸べ、赤十字奉仕団本来の活動に務めたいと思います。



日本赤十字奉仕団 (平成24年10月23日)

## 北野地区食生活改善推進員の活動

清田区食生活改善推進員協議会 会長 佐々木知子

私達は、厚労省通達「国民の健康づくり地方推進事業について」で、推進員の活動が位置づけられています。

栄養・運動・休養の3本柱のもと「私達の健康は私達の手で」をスローガンに活動している食を通しての健康づくりボランティアです。清田区では、5地区に分かれて活動していますが、北野地区には、34名の推進員がおります。

子どもには、料理を調理するだけでなく、食事の大切さと感謝の心の話しをします。高齢者には、すこやか食育事業で、簡単な調理と楽しく食事をしながら食生活の見直しのキッカケをつくります。

道産食材を使用したバランスの良い食生活、環境に配慮した食生活を「さっぽろ食スタイル」と言いますが、昨年の「北野福祉まつり」では、あん・きなこなどの道産品を使い、「おだんご」を食べていただきました。

長寿社会となり、心身ともに健康でありたいと願い、「バランスの良い食生活・自分にあった運動・疲労回復」を心がけて日々の生活を過ごしたいと思います。私達は、食を通した健康づくりの案内役をさせていただきます。

あなたも一緒に活動しませんか？



## 町内会、自治会との福祉活動の連携について

北野地区民生委員児童委員協議会 会長 河本タカ子

夢とロマンのあるまち北野に住み38年。北野は、住み始めた頃の新興住宅地から閑静な住宅街へと変わり、長年住む高齢者世代と新住民世代とに二分化され、社会の変化とともに福祉活動も複雑化しています。

町内会・自治会では、若年層や高齢層など幅広い人達を、巻き込んだ事業が行われておりますが、民生委員児童委員として参加させていただき、信頼関係を築かせていただいている、より良い環境に感謝いたします。

最近は、高齢者の一人暮らしや障がいを持つ方の孤立、孤独死のことが取り上げられ、地域の見守り活動をはじめとする支援が最重要と言われます。生命に関わる地域の情報提供は、非常に大切であるとの共通認識があります。

また、子育て世代を支援する取組みも重要で、北野児童会館では、毎週金曜日に「ポムポムタイム」という子育て活動を開催しております。民生委員児童委員だけでは、地域の見守り活動を続けることはできません。

今後とも地域や町内会・自治会の皆様のご支援とご協力をお願いいたします。



第13回北野福祉まつりで「桃太郎」を熱演する民児協の皆さん

## 地域と保護司会のかかわり

清田区保護司会北野分区 副分区長 土池三枝子

清田区保護司会は、北野、清田里塚の3分区30名で構成されており、現在北野分区は9名で活動しております。地域の皆様と共に「安全安心まちづくり」の結束の強い中、北野分区は対象者も少なく安定した分区です。毎年「ふれあい夏まつり」では更生保護女性会、学生ボランティアと共に、「福祉まつり」でティッシュ、リーフレット等を配布し、“社会を明るくする運動”“薬物乱用防止キャンペーン”啓発活動をしております。昨年12月「第2回刑務所作業製品展示即売会」では大勢ご来場いただき盛会に終える事が出来ました。私達保護司は地域のご理解ご協力のもと活動させていただいております事に感謝致します。今後とも更なる連携を深め信頼関係を構築しながら活動をしてまいりたいと思いますので宜しくお願ひ申し上げます。



北野ふれあい夏まつりでの社会奉仕活動